

# 子どもの虐待防止セミナー 開催要綱

**趣旨** 子どもの虐待については、相談所への虐待相談件数が増加し続けるのみならず、重大な事件が頻発し深刻な社会問題となっています。

子どもを救うため、虐待防止に関する各種法制度の整備が行われ、保育所等の職員は関係機関への通告義務が規定されています。これは保育者が、子どもや保護者と日常的に接する専門職として、虐待の未然防止や早期発見の役割を期待されていることを表しています。

子どもの健やかな育ちを支えるため、保育者や子どもの育ちを支える社会の一員として、子どもの虐待に関する理解を深め、必要な支援を考えることを目的に開催します。

## 1. 虐待の現状と背景について、改めて学べます

子どもの虐待について、基本的な知識として虐待の種類や影響・法律や制度を再確認するとともに、虐待と関係関係にある子どもの貧困についても学びます。コロナ禍における子どもを取り巻く環境について、現状を理解できます。

## 2. 虐待を防ぐために、どのような保護者支援ができるかを考えます

虐待の発生を予防するためには、保護者の様々な「不安」「悩み」を専門職として受け止める必要があります。

保護者との信頼関係の構築や、保護者自身の病気、育児や生活の不安等、保護者への支援方法について考えます。

## 3. 子どものSOSのサインなど、被虐待児への対応について学べます

豊かな子ども時代は、人生の基礎とも言えます。

大人に保護・養育される子ども期にとって、虐待やマルトリートメント(不適切な養育)が与える影響を理解した上で、被虐待児への対応と支援について学びます。

### 開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

### 対象

保育所・子育て支援センター・母子生活支援施設・児童養護施設・児童家庭支援センター等子どもに関わる施設職員  
主任児童委員／民生委員・児童委員／民生委員協議会事務局職員  
児童館職員（館長・児童厚生員等）、放課後児童クラブ（学童保育）職員  
子どもの福祉に関心のある施設・社協等の職員（施設種別は問いません）

### 配信期間

令和5年 10月10日（火）～11月24日（金）

### 研修費用

会員・準会員 **5,000円** 非会員 **10,000円**

### 申込期間

令和5年7月18日（火）～ 9月15日（金）

### 受講可否

令和5年9月19日（火）までにご連絡します。

時間	研修科目	研修内容
約 75 分	<p><b>講義 1</b> 「子どもの虐待の現状を知る」</p> <p>高橋 司 氏 くじやど 公事宿法律事務所 代表弁護士</p>	<p>虐待の種類や影響、虐待が起きる背景、虐待に関する法律や制度、動向等、子どもの虐待に関する知識を学びます。</p> <p>虐待が疑われる様子に気付くためのポイントや、虐待対応の基本についても理解します。</p>
約 60 分	<p><b>講義 2</b> 「子どもの貧困と子育て支援」</p> <p>小河 光治 氏 子どもの貧困対策センター 公益財団法人あすのば 代表理事</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により保護者の失業や休業が相次ぎ、特にひとり親世帯の生活実態は厳しい状況にあるといえます。</p> <p>生活のゆとりのなさは虐待と深い関係があることから、子どもの貧困とは何かを理解し、生活に困難を抱える子どもや家族への支援のあり方を考えます。</p>
約 90 分	<p><b>講義 3</b> 「不適切な保育を未然に防止するために」</p> <p>西田 泰子 氏 常葉大学短期大学部保育科 非常勤講師</p>	<p>保育園児への虐待が相次いで明らかになっています。不適切な保育を未然に防止するために、改めて不適切な保育の具体例を学んだ上で、自身や他職員の日頃の保育や、子どもとの関わりを振り返り、保育者としてのあるべき姿を考えます。</p>
約 90 分	<p><b>講義 4</b> 「子どもを虐待から守るには」</p> <p>品川 ひろみ 氏 札幌国際大学人文学部 心理学科 教授</p>	<p>保護者の育児不安や孤立感、経済的な困難や心身の不調等が子どもへの虐待につながることも少なくないため、「保護者が相談しやすい専門職」である保育者等には大きな役割が期待されます。</p> <p>困難を抱えている保護者へのかかわりや支援、子どもが発するSOSのサインとその対応について学び、相談機関との連携など保護者と子どもを地域で支える仕組みづくりについて考えます。</p>